

【声に出して読む】 俳句 正岡子規 三

痰一斗 糸瓜の水も 間にあはず

たんいっと へちまのみずも まにあわず

大根引 大根で道を 教えけり

だいこんひき だいこんでみちを おしえけり

鰯雲 人に告ぐべき ことならず

いわしぐも ひとつにつぐべき ことならず

竹の春 沖のかもめに 月ささず

たけのはる おきのかもめに つきささず